

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

## あかいし農園（埼玉県熊谷市）



### 【生産概要】（令和5年産）

作付面積 4.3ha 露地野菜（大和芋、ねぎ、ばれいしょ、かんしょ、さといも、かぼちゃ、たまねぎ等）

うち特別栽培 2.3ha ねぎ（春まき、秋まき、冬まき）を含む6品目

【経営概要】 都内の会社員を経て10年ほど前に就農 本人、両親、従業員2名  
代表：赤石 正樹

【販売概要】 インターネット通販自店舗とモール店、自宅直売、関西のそば店、全国のラーメン店等の飲食店

### ■ 取組の特徴

当園では農薬や化学肥料の使用を最小限にとどめるために、「土づくり」に力を入れている。戦後まもなくから輪作を行っており、栽培する作物のローテーションは、緑肥を加えた3年周期の作付けにすることによって連作障害を防いでいる。また、有機質肥料とともに納豆菌や酵母菌も施用し地力が保たれているので、収穫した野菜は、「本来の旨味や甘さを感じられる」と販売先からも好評を得ている。

作付け前にマルチを被覆し太陽熱で雑草を死滅させる技術を取り入れ、除草剤の回数を減らしている。

### ■ 取組のメリット

取引先に特別栽培による付加価値を理解してもらうことで販路が増え、収益向上に繋がり経営が安定した。また、お客様と直接繋がっているため反応や要望を的確にフィードバックできる。特に安全面ではS-GAPを取得し、お客様の要請に応えることができていること。

### ■ 苦労している点

自然災害、異常気象による天候にはかなり悩まされている。急な大雨やひょうが降って、大和芋が全部だめになったこともあった。また、病虫害の発生は増加傾向のため対応に苦慮している。

### ■ 今後取り組みたい事

埼玉県の支援を得て、令和4年から畑に気象センサーを設置し、雨量、天候、土壌水分量、土壌温度データ等を収集している。農学部で得た知識も生かしながらデータを分析し、栽培方法を見直すことにより、作業の効率化や高品質化に結びつけたいと考えている。

所在地：埼玉県熊谷市妻沼小島2027

電話番号：0276-38-1498

HPアドレス：<https://www.akaishi-noen.jp/>